

20世紀は「核と戦争の世紀」でした。21世紀こそは「平和の世紀」としたいとの希望を持ってスタートしましたが、テロと報復戦争などの暴力の連鎖が続き、多くの人々がいまだ戦火や暴力の中に置かれているのが悲しい現状です。核も戦争も、そして抑圧のない社会を目指す道筋とその方法の確立が急がれています。

また、今年、日本の反核・平和の国民的な運動の契機となったビキニ事件から半世紀にあたります。そして、来年は、広島・長崎被爆60周年であり戦後60周年という節目の年を迎えることになります。だからこそ私たちは、逆戻りしつつある暴力の連鎖を断ち切る契機の年にしたいと考えています。あの悲惨な体験を後世に伝え、残された戦後補償の課題の解決と被爆者の願いである核廃絶と反戦・平和の声をさらに高く上げたいと考えます。

ついては、今年―来年と非核・平和に関する様々な行動を創り上げていきます。04年は原水爆禁止世界大会の前段で、05年には沖縄―広島（又は長崎）―東京（8/15）の戦後60周年、被爆60周年の非核・平和コンサートを、暴力の連鎖に対抗して、音楽・平和の連鎖的な取り組みをしたいと考えています。音楽という文化を通して、私たちが平和に生きることを訴え、広げていきたいと思ひます。

よろしくご協力をお願いいたします。

反核ピースコンサート

アジアを中心に世界各国のサウンドと芸能の要素を取り入れた音楽集団、上々颱風（シャンシャンタイフーン）は90年エピックソニーよりアルバム「上々颱風」でデビュー。上々颱風の奏でる音楽はロック、エイジアンミュージック、ジャズ、レゲエ、沖縄音楽に民謡等々、様々な音楽要素がミックスされ、上々颱風独自のメロディーにのってどこか懐かしく、でもどこにもない音楽が生まれていく。『上々颱風 JIROKICHI DAYS 1988』『アジアが一番 復刻版+秘蔵ライブ録音『紅龍&ひまわりシスターズ』上々颱風アーカイブス発売決定



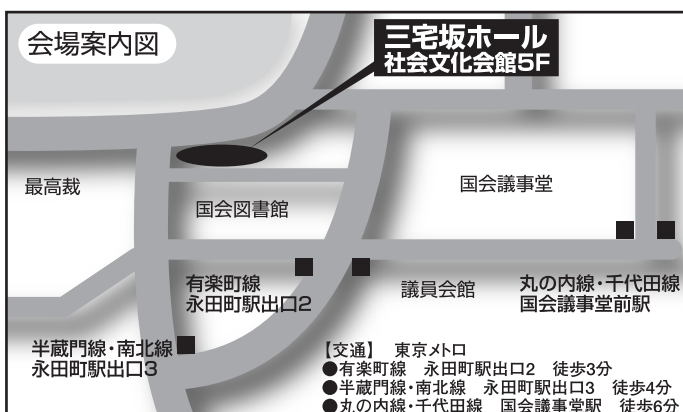
ナチュラル、個性的で、人々の心を解放させる歌声もつヴォーカル、ナビィ。ギター、三線を操り、琉球をルーツとした詩と独特な音世界を生み出すナーグシクヨシミツ。二人でアコースティックな沖縄民謡やオリジナル曲を演奏したり、バンド編成で迫力一杯のエネルギー溢るステージで多くのファンを魅了している。

96年『いのちのうた』、97年『月の空 水の大地』、98年『KOTOBUKI MEETS GOD MOUNTAIN』、98年『継いでゆくもの』2000年『A-YO』

東京・葛飾生まれの在日コリアン二世。国立音楽大学在学中から朝鮮民謡、フォークソング、フォルクローレなどをうたいはじめ、ドラマ・映画の挿入歌等を手がける傍ら、さまざまなミュージシャンとの共演、ソロライブ活動が続ける。'03年7月、張思翼（チャン サイク）、楊姫銀（ヤン ヒウン）をゲストに迎えて初の韓国ソウル公演を行い、韓国の聴衆を魅了する。シングルCD「朝露/ありがとうのち」、「おいでみんなここへ/あれから2000年」（'99年秋）、セカンドCDアルバム「オギヤディヤ」



東風平高根（Vocal.Guitar）、高橋康子（Vocal.Sanshin）で構成される沖縄ポップユニット。2001年に結成され、都内ライブハウスや沖縄居酒屋を中心に活動中。楽曲はすべて東風平高根 作詞・作曲のオリジナル。東京という視点から故郷沖縄への愛情、敬意、その美しさと悲しみを唄う。現在3枚のCDを発売中（『春夏秋冬』、『東西南北』、『沖縄ダンス』）。今年の夏クラウンレコードよりメジャーデビューが確定。



いっしょにコンサートを成功させる
スタッフ募集しています。
実行委員会までご連絡下さい！

反核ピースコンサート実行委員会

千代田区神田駿河台3-2-11総評会館1F 原水禁内
TEL03-5289-8224 FAX03-5289-8223 (井上,石出)